

世界を舞台に活躍する辻井伸行さん

辻井伸行さんは、2009年6月、アメリカで行われた第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで日本人として初の優勝を飾り、以後、日本を代表する若手ピアニストとして国際的に活動を続けている。11年、12年のシーズンにはカーネギーホール主催によるリサイタルや、ロンドンでのアシケナージ指揮フィルハーモニア管弦楽団との共演、サンクトペテルブルクでのゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団との共演など、世界を舞台に華々しい活躍が続く。

2007年、エイベックス・クラシックスよりCDデビュー。以後、継続的にCDを発表し、2度の日本ゴールドディスク大賞を受賞するなど、すべてのCDがクラシックでは異例の大ヒットを記録。2012年9月発売の最新作『モーツァルト・アルバム』は、幸福感と喜びに満ち溢れている。

1988年東京生まれ、増山真佐子、川上昌裕、川上ゆかり、横山幸雄、田部京子、干野宜大各氏に師事。2011年3月、上野学園大学演奏家コースを卒業。

2009年、文化庁長官表彰（国際芸術部門）。2010年、第11回ホテルオークラ音楽賞及び第1回岩谷時子賞受賞。2012年、映画「神様のカルテ」で、「第21回日本映画批評家大賞・映画音楽アーティスト賞」受賞。

オフィシャル・サイト <http://www.nobupiano1988.com/index.html>

※辻井いつ子さん、辻井伸行さんのお名前「つじ」の漢字の部首、しんによはパソコンの環境等により2つ点がある字体が表示されることがあります。正しくは点が1つの字体です。